

フルオラス科学研究会第8回シンポジウムプログラム

2015年10月2日(金)

清水テルサ 7F 会議室

〒424-0823 静岡県静岡市清水区島崎町 223

10:00-10:05 会長挨拶

座長：稲津 敏行（東海大工）

10:05-10:55 特別講演 1

「フルオラス分子の疎水性制御に立脚した実用的分子合成手法の開発
～ミディアムフルオラスケミストリー～」

（名城大農） 松儀 真人

10:55-11:10 口頭発表

O-1 「Effect of chain length on cellular uptake and release of
perfluorocarboxylic acids」

（東大生産研）○粕谷 マリアカルメリタ、畑中 研一

11:10-11:15 休憩

座長：柴田 哲男（名工大院工）

11:15-11:30 口頭発表

O-2 「フェノール類のベンジル位 C-H トリフルオロメチル化反応」

（静岡県大薬）○江上 寛通、井出 貴文、川戸 勇士、濱島 義隆

11:30-11:45 口頭発表

O-3 「アミド脱水縮合反応に有効なフッ素含有フェニルボロン酸触媒：
新たな展開へ」

（名大院工）○石原 一彰、魯 彦会

11:45-13:10 昼食・評議員会

座長：三浦 剛（東京薬大薬）

13:10-13:25 口頭発表

O-4 「FF ハイブリッドプローブを用いた遺伝子発現の網羅的解析」

（静岡県大薬¹、産総研バイオメディカル²）○轟木 堅一郎¹、宮内 千
恵美¹、富田 辰之介²、関 俊哲¹、井之上 浩一¹、豊岡 利正¹

13:25-14:15 **特別講演 2**

「新しい有機酸触媒の開発：有機フッ素化学からのアプローチ」
(東京薬大薬) 矢内 光

14:15-14:20 休憩

座長：畑中 研一 (東大生産研)

14:20-14:35 口頭発表

O-5 「フルオラス固相抽出法を用いた代謝産物の迅速解析を指向したフルオラス標識セラミドの合成」

(北大院生命科学) ○齊藤 翔太、吉田 昌史、Mostafa A.S. Hammam、
光武 進、五十嵐 靖之、臼杵 靖剛、村井 勇太、門出 健次

14:35-15:25 **特別講演 3**

「精密ラジカル重合によるフルオラス高分子：設計・合成・機能」
(京大院工) 澤本 光男

15:25-15:30 休憩

15:30-15:40 研究会総会

15:40-15:50 休憩

15:50-17:20 ポスターセッション

17:30-19:30 懇親会 清水テルサ 8F レストラン ブランオーシャン

ポスター発表 (15:50-17:20)

P-01 フルオラス・タグを用いたシアリル化反応の応用研究

(広島国際大薬) ○池田 潔、松本 莉穂、谷本 崇光、年光 優、川端 亜美、寺岡文照、大坪 忠宗

P-02 フルオラス溶媒中での初代神経細胞の培養

(東大生産研) ○宮島 浩樹、粕谷 マリアカルメリタ、池内 与志穂、畑中 研一

P-03 新規フルオラス有機分子触媒を用いた不斉 Michael 付加反応

(東京薬大薬) ○成島 岳史、平島 真一、中島 康介、古石 裕治、三浦 剛

P-04 ヨードイリド型試薬を用いたトリフルオロメチルチオ化合物の合成研究

(名工大院工) ○高田 大裕、有森 貞幸、柴田 哲男

P-05 ペリフルオロエトキシフタロシアニンを用いたクロロホルムの識別

(名工大院工¹、藤田保大医療²) ○徳永 恵津子¹、森 悟¹、小川 直也¹、秋山 秀彦²、柴田 哲男¹

- P-06 スチレン類の α -ケト-トリフルオロメチル化反応
(岐阜薬大) 上戸 祐二、山口 英二、多田 教浩、○伊藤 彰近
- P-07 パーフルオロアルキル基とアルキル基を有する低分子量キラルゲル化剤の合成と物性評価
(お茶の水女子大院¹、愛媛大院²、東邦大院³) ○近藤 瑛里¹、佐藤 久子²、山岸 皓彦³、佐々木 美香²¹、矢島 知子¹
- P-08 臭化ペルフルオロアルキルをラジカル前駆体とする有機触媒的光ラジカル反応の開発
(お茶の水女子大) 矢島 知子、○重永 皐月、池上 真子、野上 栄美子
- P-09 フェイズ・バニシング法を利用したチタニウムエノラートによる α, β -不飽和アルデヒドの合成
(阪府大院理) ○足達裕介、松原 浩
- P-10 ガス透過性の PTFE 膜による反応性ガスのその場発生
(阪府大院理) ○隅野 修平、福山 高英、柳 日馨
- P-11 フルオラス保護基 (FBoc 基) を用いたアルギニン残基のラクタム化の抑制
(東海大工) ○赤司 里奈、稲津 敏行
- P-12 フッ化水素酸溶液からのフルオラス金属抽出
(東海大工) ○中川 洸希、稲津 敏行
- P-13 新規光学分離デバイス “Dress-up キラルカラム” の開発
(静岡県大薬) ○轟木 堅一郎、石井 裕大、井出貴文、関 俊哲、井之上 浩一、濱島 義隆、豊岡 利正
- P-14 パーフルオロアルキルイミノ二酢酸試薬によるリン酸化ペプチドの選択的抽出とプロテインキナーゼ活性測定への応用
(福岡大薬) 長野元貴、○巴山 忠、川見祐介、糸山美紀、吉田秀幸、能田 均、山口政俊
- P-15 ヘビーフルオラストグと F-LLE 法を用いた糖質合成
(野口研¹、千葉大院融合科学²) ○水野真盛¹、後藤浩太郎¹、川上宏子¹、中野貴志¹、福田和男^{1,2}、土肥博史²、西田芳弘²、松田昭生¹

発表についてのご案内

1. 講演時間

一般講演は1演題あたり15分（講演12分、質疑3分）です。

2. パソコンについての確認・必須事項

- ・ XGA で外部出力可能な機種をお持ち下さい。
- ・ 音声出力はできません。
- ・ お持ち込みの機種専用の AC アダプタをお持ち下さい。
- ・ 本体に外部ディスプレイ出力用端子（アナログ D-sub ミニ 15 ピン RGB 端子）が付いていることをご確認ください。また、付いていない場合は、付属の外部接続用の変換ケーブルをお持ち下さい。
- ・ 「スクリーンセーバー」等の設定をしないでください。また、自動で立ち上がるウイルス対策ソフト等の設定も一時的に無効にしてください。
- ・ 再起動が必要になる場合がありますので、パソコン立ち上げ時のパスワード設定は一時的に解除してください。
- ・ 万が一に備え USB メモリなどのバックアップデータをご持参ください。

事務局では下記のパソコンを準備しております。

OS : Windows 7

アプリケーション : Power Point 2010

受付可能メディア : USB メモリ

3. 講演会場における確認事項

- ・ ご自身の講演セッション直前の休憩時間までに PC を講演までお持ちください。
- ・ 講演中の PC 操作は講演者本人が行ってください。

4. ポスター発表について

- ・ ポスターボードは、「高さ 1820 mm, 幅 910 mm」のボードを準備致します。このボードの表と裏の両方にそれぞれ1演題ずつ掲示していただきます。A0 ノビの掲示が可能です。

このご案内は予告なく変更する可能性がありますのでご了承ください。

その他、質問や疑問がございましたら、事務局（fluorous@u-shizuoka-ken.ac.jp）までご連絡ください。